

第壹回修路競技會報告

宮城縣土木部道路課

一、序言

何處／＼の道路は悪い、路面が穴だらけだ、全くひどい。と言ふ事を聞くと其れが必ずしも上司の言に限らずひそひそ話に至る迄も擔當者は聞耳を立てて、ハツとする。

そして直ぐ様神經の尖がつた聲で事務所長に注意する。

年から年中こんなびく／＼してゐては命がちゞまるので一方「路面が悪い」と云ふ言葉に對抗して何とか辯解の言葉を作製しなければならぬ。

そして出来上つたのが即ち「豫算が少ない」と「砂利が高い」と言ふ言葉だ。成程豫算は少ない、一杆當平均五〇圓八五錢也だ。

全國の一杆當平均七十九圓には及びも付かないが、せめ

て東北六縣の平均五十四圓よりは一寸多くが望しい何とさゝやかな望みではないか。

本縣にしても昭和五年、六年頃一〇〇圓とか八十六圓とか今から考へると先づもつたいない程の豫算もあつた相だが、昭和七年以降の農村匡救事業の爲めドンと四十七圓迄低下してゐる。

「道路改良をやつたから維持費は少くていいゝだろう」と言ふのも變な理窟だし我々としてはむしろ悪いものを悪いまゝ維持するよりも良くしたものを悪くしない様維持する方が難しいと言ひ度い。

又「維持費に廻す豫算がない」と言ふのなら何をか言はん哉。こうなると道路維持に對する認識の是正から始めな

くてはならぬ。と言ふ様な譯で現在一籽當五〇圓餘となつて居る。併し「路面が悪い」と言ふのに一々「一籽當五〇圓ですよ」とか「砂利は一年に一回一平米當三籽厚しか敷けない」とか言譯しても聞いて呉れるものではない、「それにしても悪いね」と言ふ返事を待つてゐる様なものだ。「砂利が高い」と言ふのは次表に依つて御判断願ふ事として説明は御遠慮致す事とする。

國道沿線	一立方當砂利單價	平均	三、五〇圓
指定府縣道沿線	同	同	三、六〇圓
重要府縣道沿線	同	同	三、七〇圓
其他府縣道沿線	同	同	三、七〇圓

さて以上の事情はよく分つて頂けると思ふけれども我々は如何なる状況の下でも必死となつて道路の維持修繕をなし非常時下交通に些細の支障も來さしめてはいけない。

「維持費は所謂維持費で現在の状況をより悪くさへしなればよいではないか」と言ふ名言もあるが其れでは濟まされぬ、これは事務所に頑張つて貰ふより他ない、ところが

本縣の機構では本課が事務所に對する具體的指導監督の手法が極めて乏しい、殆んど總ては事務所長まかせで本課は單に小言を云ひ得る程度に過ぎない。其處で課内の案に依つて修路、競技會と道路審査會とをやつて本課の指導方針を徹底せしむる事となつたのである。(この他修路夫座談會もやつたが、東北人の通性で修路夫連中仲々意見を出さな

さて道路審査會の報告は追て致す事として修路競技會に付て詳しく御報告いたす事とする。

二、土木事務所長宛 通牒

修路競技會開催に關する件

土木部長

道路修理の實績を擧げんとせば監督員の指導其の宜しきを得るにあるは勿論なれど一面修路夫の訓練を附すること最も緊要なるもの有之候處既に一、二の事務所に於ては此點に留意し修路夫をして集團的作業を行はしめ訓練を附し居るは誠に機宜に適したる措置と存せられ候條未だ右實施せざる事務所に於ては速に競技會の名の下に實施相成度而

て第一回の集團作業の實施計畫を樹立し實施場所、日時報告相成様致度尙右實施に當りては關係町村長と協議を遂げ町村中堅階級の土をして可成多數見學を行はしめ道路愛護に資せしめらるゝ様努められ度

追て本件實施に當りては左記事項に留意相成度候

修路競技會開催注意

競技會事項要領

- (1) 横斷勾配及屈曲部片勾配並に其の取付
 - (2) 路肩の整理（耳芝付替）
 - (3) 修理材料の節約と適所適材を選ぶこと
 - (4) 排水全般を織込むこと
 - (5) 橋梁暗梁取付部に於ける圓滑なる縦斷勾配
 - (6) 遊離ベラス大玉石露出骨材の處理方法と實際
 - (7) 路面障害物取締
 - (8) 視野擴大、屈曲部草木伐採
- 修路作業競技會賞金に關する件

近く貴管内に於ける修路作業競技會開催の趣に付之れが獎勵の趣旨を以て本協會より賞金の一部として金五圓也贈呈致度に付開催の際は一應本協會に御通報相煩度 以上

附記 作業せしめる丈では士氣に關するの些細乍ら協會より賞金を出して貰ふ事とした

三、實施狀況

競技會の順序方法等に付ては別に指示する事なく各土木事務所長の考へにより施行せしむる事とした、従つて事務所により色々異なる點があり將來の参考となる事が多かつた。

今事務所毎に其の實施の狀況を報告する事とする。

(1) 鹽釜土木事務所

鹽釜土木事務所は部長通牒前に内意を受け試験的に競技會を施行した、別記要綱に依つて工夫一人に對し延長五〇米（中四・五米）を抽籤により割當監督員其他一切指導する事なく各自日頃の作業方法を以て實施せしめた。

當日は天氣も良好、殊に日本三景之一松島灣の微風は

心地よく吹き渡つた、作業終了は正午となつてゐたが各人の状況をみるに未だ修路半端にして到底完了する見込が立たないので時間を三時間延長四時までとする事となつた、各修路夫は非常な熱心さを以て作業を續行し午後四時一齊に作業を中止せしめたる時は全く見違へる程立派な道路となつた。然し乍ら終始作業を見てゐる内に各人の腕の差、頭の差は判然たるものがあり、結果に於ては大差のない良好な路面となつたが、作業の丁寧なるもの、然らざるもの、順序よきもの、悪きもの、要領よきもの、悪きもの、各人各種の腕前が、如實に表はれて極めて参考となつた。

横斷勾配は片勾配の個所も多かつたが頗る良好。

側溝は最後の吐口の入手を失念したるものが多かつた。其他は大體良好。只路面の不陸直しに鶴嘴を使用しないものがあつたが之れは残念だつた。參會人員二十一名、通牒前の事として等級は付けなかつた。

修路作業競技會要綱

鹽釜土木事務所

一、日 時 五月二十九日

一、場 所 松山鹽釜線

一、作業區域 一人に付五〇米とし第一號より第二十一號に區分し豫め番號を附し當日は抽籤により決定し名簿を作製し置くこと。

一、參加人員 修路夫、並に臨時修路夫

一、作業開始 午前九時

一、終了時間 正午

一、作業要綱 横斷勾配を廿分の一乃至十五分の一に仕上げ排水に充分ならしむること。

縦斷勾配は前後に倣ひ均一なるものとす。

路面の凸凹は鶴打をなし一様になる様仕上げ轉石の突出せるものは掘起して抜き取ること

砂利は最後に用ふるものなるが、砂及粘土（又は眞土）を適宜使用して砂利、砂が粘土によりよく粘着して自動車通行に對しても飛散することなく地盤と一體となる様工夫すること。

但し粘土の使用適當にして降雨に際しても泥濘とならざる様注意すること

側溝は能く深浚して其の不用土砂は適當なる地點に運搬捨土すること。

耳芝は整理して肩高き時は切り下げて耳芝を付けること。

作業用具。鶴嘴、スコップ、鋤鎌、唐鍬、箱箕、

當日配置材料 五〇米當

砂利 〇・一五立米

砂 〇・三五立米

粘土 〇・一〇立米

(2) 古川土木事務所

古川土木事務所に於ては爾來同所長の持論としてゐる團體作業を主として各方面別に編成し其の所屬修路夫は一團となつて受持延長の修理作業を行つた。

本作業に於ては耳芝を一齊に付換したる爲其れに相當の時間を要し又元々路面が良好だったので不陸直しの作

業狀況順序等良く見る事が出来なかつた。然し耳芝を付換たる爲め完了後の道路は全く面目一新するに至つた。

實施の狀況は所長の報告を借りる事とする(以下報告)

全員殆ど自轉車にて現地に集合せるが川渡、小野田、

涌谷、鹿島臺等の遠隔の地より参加せる者も定期より何れも早く集合し(大抵七時半頃迄に)作業開始を待つと

言ふ有様にて作業に對する熱意頗る旺盛を極めたり、定刻八時半、所長の挨拶の後班長の作業に對する班員への

注意等ありて九時作業開始、午後四時終了、其の間午前中十五分晝食のため五〇分休憩せしのみにして此の酷暑

然も長途自轉車にて参加せるにも拘はらず一同元氣旺盛各班ふて作業する眞剣なる態度は全く壯觀にして戦線の

皇軍將兵諸氏の勞苦を偲ぶに相應しき作業にて此の非常時局下に於ける最も有效なる計畫と思考せらる。

班長の班員の指導監督人員の配置並に班員各自の動作等は良好なりしも中には屈曲部に於ける片勾配不充分的

箇所(勿論今回は作業時間の割合に仕事の分量の多き

にもよる事ならんも）或は耳芝伏込む際に高きに失し排水上支障有之哉に見受けられし箇所も有之今後此の種の作業に特に留意する點ならん。

路面は一般に良好且側溝も浚渫せられ居りしを以て此の種作業は比較的容易にて特記すべき事なし。此種作業第一回の試としては良好なる成績を挙げ得たる事を確信し今後の作業に大に期待せらる、作業終了後所長の挨拶、岡崎技師の講評等あり、作業解散一同元氣にて夫々自轉車にて歸途につけり。

一、日 時 七月二十一日

一、場 所 國道四號線

一、一人當延長 二〇米の割（中員）（六米乃至七・五米）

一、五 班 參加人員 二十五名

(3) 大河原土木事務所

競技會計書

一、期 日 七月二十四日

一、競技場所 大河原互理線

一、作業開始 自午前十時三十分

一、晝食休憩 自午前十一時三十分至正午

一、作業終了 午後一時

一、審 査 別紙様式に依り審査員提出

一、審査發表 一、賞品授與 一、講評 一、解散

成績審査書

作業番號	作業状態	前道路の良否	作業要領可否	作業時間	通常に於ける成績	良否	成績採點	摘要

備考

作業番號決定方法は現場各二〇米宛分割しあるを抽籤に依る、採點は最高を百點を以て限度とし嚴正に採點するものとす、尙通常に於ける成績の良否は所長各審査員提出後記入し順位決定の參考に供す、審査員は大河原土木事務所勤務技術者五名とす。

實施狀況は大體本計畫書の通りに遂行せられ適當な計

晝と見受けられた。作業箇所は片切、片盛の所で兩側とも相當草木の繁茂を見てゐたが之れは見事退治せられサツパリした気分を感じた。只路肩の切落し方について若干舊來の耳を高く残す方法を取れるものがあつたのは指導不徹底の點ありと認めた。その他極めて良好であつた。採點審査の結果左記の者が入賞の榮冠を得た。

- 一等 佐藤 二等 佐々木、高橋 三等 森、古山、沼田 四等 櫻井、南館、大宮、海谷 參加人員二十二名
(4) 石巻土木事務所

絶好の天氣に恵まれて七月二十五日午前九時より正午迄一人當三〇米として抽籤により位置決定、作業は開始せられた。

場所は石巻浦谷線、石巻市外の箇所、相當の自動車交通があり作業に若干の障害を受けたが豫定通りに完了する事を得た。

採點は道路課長、岡崎技師、所長、監督四名の計七名が無記名投票に依り決定したが之れは頗る面白い結果を

得る事が出来た一等となつた大泉は本線受持の地の利を得たる爲め最初より他の人の様に作業順序を考へると云ふ事もなく自信たつぷりと鶴を使ひ總點六五五點を得たのは當然と言へば當然と言へる。

- 二等 佐藤 三等 渡邊 四等 大森 五等 菅原
參加人員 計二十四名
(5) 佐沼土木事務所

本事務所の競技會は非常に花々しく又計畫も上手にやつてあつて見應へを感じた、熱風の下新調の紅白旗は各區分毎にハタ／＼と翻り班旗色別の腕章は通行人をして何事ならんと驚嘆の眼を張らしめた、先づ計畫書を御紹介する。

修路作業競技會計畫書

一、目的 非常時局に對處し一には團體統制の訓練
相互協力の美風を養ひ、一には個人技能の啓發練磨
を兼ねるを目的とす。

一、方法 全體を四班に分ち各班内を更に各人に分

ち各班は班長の綜合計畫に基き最初午前中各人の競技を以て始め正午打切、審査して各個競技を終り、午後引續き其の儘延長各班團體競技に移行し各班審査終了す。

作業區域の決定は最初抽籤に依り各班受持區間を決定し其の區間内を更に班内各個人毎に抽籤に依り決定す。各個受持長一五米、班内個人延長を以て各班の受持とす。

一、審査規準

1. 路面の縦斷勾配形狀 一〇點
2. 路肩、耳芝の整理伏換 一〇點
3. 側溝法面の整理浚渫 一〇點
4. 線形幅員整理伏換 一〇點
5. 用具段取の適否 一〇點

大體右を基準とせる綜合點數とす。

一、作業場所 志津川氣仙沼線 松岩村地内

一、日 時 八月二日午前八時開始 午後二時半終了

以上

砂利、砂、粘土等の材料は一切支給せず作業せしめた爲本當の各人の腕前を見る事が出來た。延長も一人當一五米(中五・五米)で丁度手頃と見へて結果に於ても見事な仕上りを見る事が出來た。

参加人員 四〇名

- 個人入賞者 一等 木村 二等 石川 三等 芳賀
四等 西條 五等 熊谷 六等 山内 七等 佐藤
團體順位 一等 登米北部班 二等 志津川班 三等 登米南部班 四等 氣仙沼班 以上

(6) 築館土木事務所

一日自動車臺數三百臺以上で今迄修路夫缺員のため痛みに痛んでゐた若柳、石越停車場線を一人に對し七〇米の延長を割當てたるは少し過重であつた、然し乍ら修路夫一同は全く力の限りを盡して努力した。遺憾乍ら延長が長過ぎて充分な修理を爲す事は出來なかつた様に思はれた鶴を使つたもの二人丈で他は材料を撒布した程度である。肩の切落しは尙不徹底の様だつた。

歸途乗合自動車に乗つて全線を走つた時乗客の一人が今日は玄海灘の波はひどく静かだと感心してゐたのを聞いてやはり相當以上の効果があつた譯だ。参加人員二十七名。

(7) 仙臺土木事務所

土木部長の視察を得る事の出来た仙臺事務所の競技會は折柄の豪雨の爲め修路夫の苦勞も甚しかつたと思ふがそれでも熱心に作業して呉れた事は全く嬉しかつた。一人當二五米の個人競技で時間は大體計畫通りに終了する事が出来た。

作業終了後所長が一同を引つれて全延長を歩き悪い點良い點を實地に指摘して指導したのは甚だよかつた。其の後監督員を集めて本課の指導方針を話したが之れも相當効果があつた事と思ふ。

一等片桐の區間は審査の時に一しきり豪雨が降つて今迄修理した所にも相當水たまりの出来たのやら上流れを生じたもの等あつたが此の片桐の所は大變路面の落着きが

良かったので一等となつたものである。しかし只石を遠く投捨てゝゐたのは一寸まづかつた。

二等 加藤、渡邊、小林、樋渡、阿部、庄司
参加人員 二十七名

四、結 論

各事務所思ひ／＼の方法であつたが夫々特長があり甚だ得る所が多かつた。佐沼土木事務所の計畫等相等優秀なものである此の競技會について考へなければならぬのは餘り競技に偏する事でのこの點は終了後必ずしましめる事とした。最後にこの競技會で得たる成果に就て述べて報告を終る事とする。

(1) 修路夫の實際の技能を知る事が出来て参考となつた。

(2) 修路夫と所員、本課員と親しみを感ずる様になつた。

(3) 實地の技術的指導が出来た、隣りに優良修路夫がある丈でもこれを見做つて相當な成績をあげた。者が多

す。

(4) どんなに競技會丈頑張つてもやはり日頃斷へずやつてゐる者が勝つと云ふ事が分つた。日頃なまけて居る

者でこんな時良い成績をあげ様と頑張つてもそれは最始のある時間丈で終りの頃になると段々だれて來て結局コツ／＼やつた者に追付かれ果ては追抜かれると云ふ事だ、やはり日頃が大切である。

(5) 體力が物を言ふ事が分つた。何と言つても體力のいゝものにはかなはない、樂にやつて能率があがる、待遇をよくする事が出來たら體力のいゝ者ばかり集めたと思つてゐる。

(6) これは蛇足かも知れぬが相當の延長の路面側溝等徹底的に修理される事。

これは副産物であるが可成價値のある事である。どうしてもよくならない。手に負へない所はこの方法をやると完全に直す事が出来る。

(7) 其他甚だ得る所があつた。

以上第一回修路競技會の報告をなし諸賢の御参考に供す

る次第である。

終り

高知市内の橋梁は水の都大阪市に較べると問題にならないが、それでも全國の中都市に比較すると可なり橋梁の多い方である。高知市の橋梁は九月三十一日現在で百九十二橋あるその他國道の掘結橋、播磨屋橋、高知橋比島橋の舊橋を合すと百九十六橋となり水都高知市の感を深くする、市有の橋梁中最長は九反田橋の八十四間、橋梁の總延長は九百八十二間に達しその架橋費總額は實に三十一萬圓を突破してゐる。しかして小粒な割に一番金のかゝつてゐるのは新京橋で二萬五千餘圓である。高知市では十數年來、市の發展は先づ橋梁からのモットーに邁進し理想的の四ツ橋をはじめ潮江、雜喉場、九反田各橋のモダン橋等現在市の橋梁は完成の域に達してをり四國隨一と謂はれて居る。